

連絡先
三重県総合文化センター
三重県文化会館 事業課 音楽事業係
(担当者) 濱口展香 飯干聡子
(電話) 059-233-1112
(FAX) 059-233-1106
(E-mail) h-hamaguchi@center-mie.or.jp(濱口)

アートで地域と繋がるプロジェクト
1年1市町とタッグを組んで、音楽で街を元気に

新日本フィル

29市町巡回事業 始動!

アートで地域と繋がるプロジェクト「新日本フィル 29市町巡回事業」

三重県文化会館は地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団と協同で、1年1市町とタッグを組み、29年にわたる社会包摂型の長期事業「新日本フィル 29市町巡回事業」を始動します。福祉施設や障がい者支援施設など、市町の要望に応じて様々な場所・シチュエーションで演奏会や楽器指導などを実施します。劇場法の施行により地域コミュニティの創造と再生が劇場に求められている今、アートが手段となり社会的効用を発揮する事業への要請が高まっています。教育、福祉、観光、経済等、アートの持つ力で様々な分野の地域課題の解決に積極的に取り組みます。

「南北に長い三重県だからこそ劇場にこだわらず」

三重県は南北に長く、三重県文化会館のある津市にお越しになれない地域に住む県民も多いのが現状です。そこで、三重県文化会館を飛び出し、新日本フィルハーモニー交響楽団とともに毎年1つの市町で重点的に活動します。

「市町担当者と相談し、その街のニーズに合わせて」

本事業は2年間で1サイクルとしています。1年目は市町の担当者と会場を決定、2年目は実際に当該市町に楽団員が伺い、事業を実施します。また、当該市町を担当する楽団員プロデューサーを置き、教育・福祉・観光などそれぞれのニーズに合わせたオリジナルプログラムを三重県文化会館と協同で制作します。

「第1回の開催地は亀山市」

記念すべき第1回は「亀山市」。「教育」「福祉」「観光地」など、様々な分野とタイアップし、「音楽で街を元気に」をスローガンに、亀山市内各地で活動を行います。

事業概要

① 新日本フィルハーモニー交響楽団

プロフィール

1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97年、墨田区に移転。すみだトリフォニーホールを活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行う日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も特徴的。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。受賞歴に三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞等。2016年9月より指揮者・上岡敏之が音楽監督を務めている。この他、04年に音楽家・久石譲と立ち上げた“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”で幅広い人気を集め、映画『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』では管弦楽を担当。

当館とは平成9年に地域拠点契約を結び、年に2回の定期公演の他、三重ジュニア管弦楽団の定期指導、新日本フィル楽団員による演奏クリニックを開講するなど、精力的に活動を行っている。



©K.miura

② 楽団員プロデューサー 田村 安紗美(たむら あさみ)



プロフィール

京都市立堀川高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部卒業。全日本学生音楽コンクール大阪大会・高校の部第2位、京都芸術祭「奨励賞」受賞。藝大在学中に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。文化庁新進芸術家海外留学制度の研修員として、ドイツ・フライブルク音楽院にて研鑽を積む。フライブルガー・バロックオーケストラに客演。田村安祐美との姉妹ヴァイオリン・デュオ「Duo SAKURA」で活動。NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。2000年、2008年度(財)青山財団「バロックザール賞」受賞。チェンバー・ソロイスト・佐世保メンバー。これまでに渡辺美穂、辻井淳、田淵洋子、浦川宜也、Gottfried von der Goltzの各氏に師事。新日本フィル 第2ヴァイオリン奏者。

③ 吹奏楽部指導楽団員 山口 尚人(やまぐち ひさと)



プロフィール

佐賀県出身。東京藝術大学音楽学部卒業。在学中より学内や新人演奏会にてコンチェルトを共演。トロンボーンを坂本辰則、村岡淳志、古賀慎治、伊藤清の各氏に師事。2000年第17回日本管打楽器コンクール・トロンボーン部門第3位受賞。佐賀銀行文化財団新人賞受賞。またズーラシアンブラスのメンバーとしても活躍。その他アレンジャーや作曲家としても活躍し、国内外の出版社より多くの作品を出版している。東京佼成ウインドオーケストラの委嘱でトロンボーン協奏曲「Four Inspirations」を作曲、当時ウィーンフィル首席トロンボーン奏者だったイアン・バウスフィールド氏が演奏した。2010年には自作のトロンボーン協奏曲「ダビツ寅さん」を自身で演奏。新日本フィル トロンボーン副首席奏者。

④ 実施プログラム一覧

1) 小学校アウトリーチ

亀山市内小学校 4 年生を中心にクオリティの高い学校訪問コンサートを開催します。音楽鑑賞だけでなく、想像力を刺激する参加型プログラムを行い、クラシック音楽を身近に感じることのできるコンサートを提供します。

2) 福祉施設慰問コンサート

劇場にお越しになれない高齢者のもとへ出向き、慰問コンサートを開催します。コロナ禍で外部との接触が制限され、施設内での体験イベントも減少する中であるからこそ、第一線で活躍する楽団員による生演奏の力で感動体験をお届けします。

3) 観光地コンサート

東海道五十三次 47 番目の宿場町である関宿は現在も歴史的建造物が立ち並ぶ観光名所です。亀山市観光協会と協力し、関宿にある旅籠玉屋歴史資料館で観光地コンサートを開催します。このコンサートの動画撮影に合わせて、多門櫓や関宿の街並みなど様々な名所でも演奏動画を作成し、音楽と共に亀山市の魅力を全国に発信するプロモーションビデオを制作します。

4) 中学校吹奏楽部指導

フィナーレ公演で共演する曲目を中心に、新日本フィルハーモニー交響楽団トロンボーン奏者山口尚人氏による技術指導を行います。また、フィナーレ公演で合同バンドの演奏を行い、各校吹奏楽部の交流を深めるとともに、技術力強化を目指します。

5) フィナーレ公演

巡回事業のトリを飾るフィナーレコンサート。前半は 1 年をかけて市内各地で活動を行った楽団員プロデューサーを中心とした室内楽公演で本格的な演奏を、後半は技術指導を行った中学校吹奏楽部 2 校と合同で共演を行います。

⑤ 事業行程

■1 クール目 亀山市市長表敬訪問と小学校アウトリーチ

日程 2021 年 6 月 30 日(水曜日) から 7 月 2 日(金曜日)

	9 時 00 分 から 9 時 30 分		13 時 20 分 から 14 時 05 分
6 月 30 日 (水曜日)	亀山市市長表敬訪問	→	小学校アウトリーチ (亀山市立神辺小学校)
	10 時 45 分 から 11 時 30 分		13 時 40 分 から 14 時 25 分
7 月 1 日 (木曜日)	小学校アウトリーチ (亀山市立亀山南小学校)	→	小学校アウトリーチ (亀山市立野登小学校)
	10 時 45 分 から 11 時 30 分		13 時 55 分 から 14 時 40 分
7 月 2 日 (金曜日)	小学校アウトリーチ (亀山市立加太小学校)	→	小学校アウトリーチ (亀山市立白川小学校)

■2クール目 小学校アウトリーチと福祉施設慰問コンサート

・小学校アウトリーチ

日程 2021年9月1日(水曜日)から9月3日(金曜日)

対象校調整中

・福祉施設慰問コンサート

社会福祉法人 希望の里 特別養護老人ホーム 野村きぼう苑

日時 上記日程より調整中



■3クール目 小学校アウトリーチと観光地コンサート

・小学校アウトリーチ

日程 2021年11月4日(木曜日)から11月5日(金曜日)

対象校調整中

・観光地コンサート

関宿旅籠玉屋歴史資料館

日時 2021年11月6日(土曜日) 14時開演

事前予約・チケット制(資料館入館料として)

限定 20名 を予定



※関宿旅籠玉屋歴史資料館は、市文化財に指定されている江戸時代の貴重な旅籠建築を修復し、旅籠で使われていた道具や歴史資料を展示した資料館です。

■4クール目 中学校吹奏楽部指導

日程 調整中

亀山市内中学校(亀山中学校、亀山中部中学校)吹奏楽部への技術指導

■5クール目 フィナーレコンサート

一年間のトリを飾るフィナーレコンサート。楽団員プロデューサーを中心とした弦楽四重奏と、指導を受けた吹奏楽部と指導団員の合同バンドによるステージを実施。

日程 2022年2月26日(土曜日) 14時開演

亀山市文化会館



令和3年度 亀山市巡回事業

主催:三重県文化会館 [指定管理者:公益財団法人三重県文化振興事業団]

共催:亀山市文化会館 [指定管理者:公益財団法人亀山市地域社会振興会]

協力:公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団

後援:亀山市、一般社団法人亀山市観光協会、亀山市フィルムコミッション

問い合わせ先

公益財団法人 三重県文化振興事業団 三重県文化会館 電話 059-233-1112 (担当:濱口展香)

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234(三重県総合文化センター内)